

## 試験の内容について解説！

2月になり、進路のことについて真剣に考えている人も多いのではないのでしょうか。そこで、私達は入試の問題や公務員の試験などについて調べてみました。ぜひ参考にしてみてください。

### 〈進学試験について〉

大学の入学試験には、大きく分けて、一般選抜・総合選抜・学校推薦型選抜の3種類があります。さらに、一般選抜は、大学入試センターが実施する大学入学共通テストと、各大学が独自に実施する一般選抜試験に分けられます。また、学校推薦型選抜も公募制と指定校制の2種類があります。

### 〈一般選抜とは？〉

大学入試と聞いて一番に思いつく人も多い試験の1つです。2020年度までは「一般入試」と呼ばれていましたが2021年度入試より「一般選抜」に名称が変わりました。

国立大学の場合は、まず例年1月中旬に実施される大学入学共通テストを受験。



その結果をふまえて、2月下旬から始まる各大学独自の二次試験に出願する。



国立大学の合否は、大学入試共通テストと二次試験の合計点で決まる。

二次試験は前期・中期（公立のみ）・後期の3回。前期は2～3科目の筆記による学科試験、後期は論文や総合問題、面接が中心です。

私立大学には、各大学独自の試験問題で行われる個別学力試験によるものと、大学入学共通テストを利用したものがあります。基本となる試験は3教科ですが、2教科や1教科で受験できる私立大学・学部・学科もあります。

### 〈大学入学共通テストとは？〉

2020年度まで実施されていた「大学入試センター試験」が名称を変え、2021年度よりスタートしました。国立大学の一般選抜の一次試験であると同時に、私立大学でも選抜方法のひとつとして利用されています。

全部で6教科30科目あり、その中から受験する大学で指定されている科目を選択し

ます。国公立大学を受験する場合は5教科7科目が基本です。私立大学の一般選抜を受験する場合は、大学・学部・学科によって異なり、1教科～3教科で、1科目～6科目です。

大学入学共通テストの成績だけで合否が判定される私立大学・学部・学科もあり、1回の大学入学共通テストで複数の私立大学に同時出願できるメリットがあります。

## 〈総合選抜とは？〉

大学が求める学生像に合った人物を、面接などを通して選抜する入試制度です。

2020年度までは「AO入試（アドミッションズ・オフィス入試）」と呼ばれていたが、2021年度入試から「総合型選抜」に名称を変更しました。

基本は、志望理由書・調査書などによる書類選考、面接、小論文による選抜があります。

## 〈公募制の学校推薦型選抜とは？〉

出願するときに出身高校の推薦書が必要な入試です。2020年度までは「推薦入試」と呼ばれていました。選抜方法は、書類選考、面接、小論文が一般的です。

## 〈指定校制の学校推薦型選抜とは？〉

高校の推薦書があれば誰でも出願できる「公募制」に対して、大学が指定した高校の生徒にのみ出願資格があります。（令和2年度の実績については『進路の手引き』に載っているのを確認しましょう。）

選抜方法は、高校での選考を得て、各大学で書類選考や面接などの試験が行われるのが一般的です。

## 〈大学受験に向けて取りたい資格・検定〉

- ・ 実用英語技能検定
- ・ ケンブリッジ英語検定
- ・ TOEIC
- ・ 日本漢字能力検定
- ・ 実用数学技能検定
- ・ 実用理科技能検定
- ・ 日本語検定
- ・ ITパスポート試験

資格を取得することで推薦・AO入試が有利に働きやすいというメリットがあります。介護や医療など専門的なスキルの必要な職業は、資格の所持が就職の条件となることも多いので、自分の職業で取得しておくとい良い資格を調べておきましょう。

上記の資格のケンブリッジ英語検定、TOEICなどは海外勤務を希望する人におすすめです。ITパスポートは事務系職種への就職に有利です。

## 〈就職試験について〉

一般的に、就職試験は筆記試験と面接試験の二つで構成されます。その中で筆記試験の5種類から、2種類を紹介します。

### ① 一般常識

国語・数学・社会・理科・英語の5教科だけでなく、文化・時事問題やビジネスマナーが出題されます。社会人としてコミュニケーションに必要な最低限の一般常識や教養を身に着けているか確かめているものです。

### ② SPI 基礎テスト

Synthetic Personality Inventory の略で総合的適性検査の意味合いをもちます。基礎的な知識、能力を測り仕事をこなす能力があるかどうか、また性格の傾向を測り仕事への意欲や態度などの適応度をみる検査です。SPI は大きく分けて能力検査と性格検査で構成されています。能力検査はさらに言語分野と非言語分野に分かれます。その中で非言語分野から例題を持ってきました。

### 例題

1月から5月に生まれたP,Q,R,S,Tの5人がいる。この5人について、以下の3つのことが分かっている。

- ・同じ月に生まれた人はいない。
- ・Pは3月生まれである。
- ・RはTの次の月に生まれた。

このとき、次の推論ア、イ、ウについて、必ずしも誤りとはいえないものはどれかA～Hから答えを選びなさい。

- ア Tは2月生まれである。
- イ Rは4月生まれである。
- ウ Qは5月生まれである。

- |          |                     |
|----------|---------------------|
| A アだけ    | E アとウの両方            |
| B イだけ    | F イとウの両方            |
| C ウだけ    | G アとイとウのすべて         |
| D アとイの両方 | H アとイとウのいずれもあてはまらない |



正答 C

## 〈公務員試験について〉

公務員試験の程度や試験区分について紹介します。

### 試験の程度

公務員試験の受験案内や実施要項をみると、大学卒業程度（Ⅰ類、上級など）、専門学校・短大卒業程度（Ⅱ類、中級など）、高卒程度（Ⅲ類、初級など）というように分けられている場合があります。

これらは、原則として学歴によって区別するものではなく、最終学歴を目安として受験者に求める能力の目安や試験内容のレベルを示すものです。それぞれに示されている学歴がなくても受験可能な年齢に達していれば、採用試験を受験することができます。

しかし、警察官の採用試験などにみられる例ですが、学歴を要件とするものもありますので、それぞれの採用試験の受験案内や実施要項を確認する必要があります。

### 試験区分

例えば、〇〇県職員採用試験（高校卒業程度）という一つの試験の中で、事務や電気、土木などのように試験区分が設けられている場合があります。

このような場合、通常、試験区分ごとに採用予定者数を決めて試験を実施します。（合格者は採用候補者名簿に登載されます。）

どの区分で受験するかは受験者が受験申し込みをする際に決めます。試験区分は基本的に勤務地域によってさらに細分化しているケースもあります。

例えば、国家公務員試験の東北、関東甲信越、東海北陸、近畿などがこのケースに該当します。また、地方公務員では、勤務機関によって一般事務（知事・市町村長部局）、学校事務（公立学校）、警察事務（警察本部や警察署等）などの区分に分ける場合もあります。

これらの試験区分は、単純に仕事内容の区分だけを表すものではこともあるので、それぞれの採用試験の受験案内や実施要項を確認する必要があります。

shinronavi.com より引用

参考 「進路ナビ」 URL <https://shinronavi.com/> 令和4年1月21日閲覧

### ・編集後記

・今回初めて自分たちで編集を行いました。最初は何をすればよいかわからず悩みましたが、1年生の進路委員のみなんで協力して良いものができたと思います。改めて文を作ることの大変さが分かりました。そして、なにより自分が全く知らなかったことを知ることができてよかったです。自分自身の進路決定のためにも良い経験になりました。また、まだ進路が決まってない人に対し、良い参考となる内容だと思います！